

報道関係各位
プレスリリース

株式会社SkyDrive

SkyDrive 初！東京での空飛ぶクルマのデモフライトに成功
～高度な姿勢制御を披露。マルチローター型の強みを活かした都市型運航の可能性を提示～

「空飛ぶクルマ」(※1)の開発・製造・販売を行う株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、東京都と三菱地所株式会社、兼松株式会社と連携し、2026年2月24日（火）、東京ビッグサイト（江東区有明）にて、空飛ぶクルマ「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」のデモフライトを開始いたしました。SkyDrive が東京都内でデモフライトを行うのは今回が初めてとなります。



東京デモフライトには、約 300 の方が来場

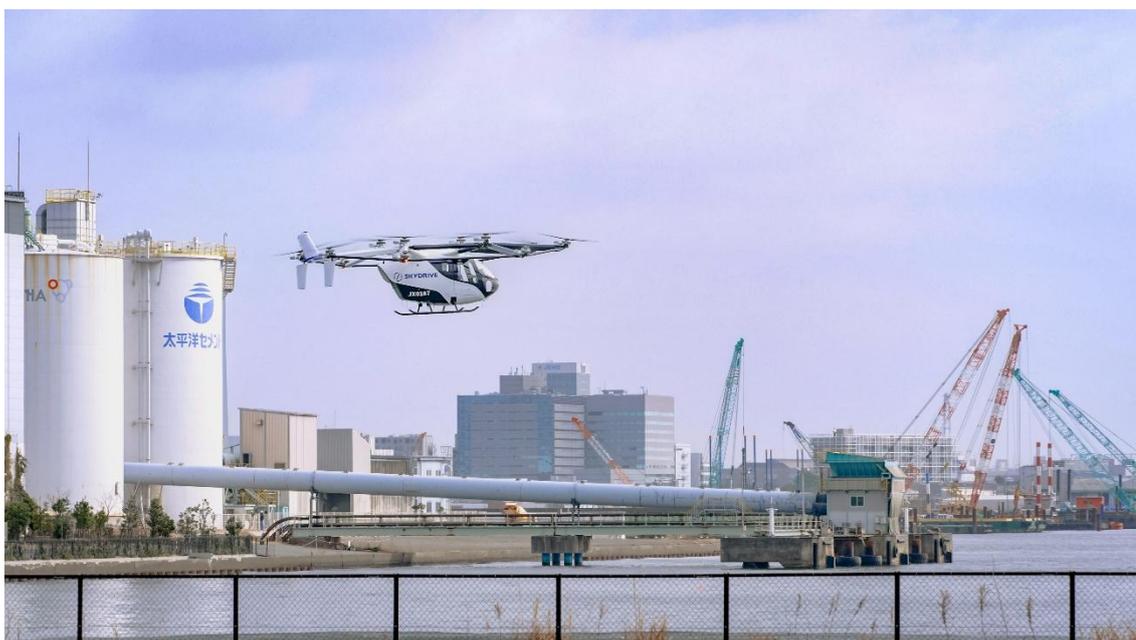
■ **本日のデモフライトの特徴**

本日、東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場を離着陸地点とし、2025年大阪・関西万博と大阪港パーティポートでの公開フライト(※2)でも使用した機体と同型の「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」の飛行を実施しました。

本日のデモフライトでは、東京ビッグサイト内の限られたスペースから海上への飛行を披露しました。このような都市部のビル屋上や狭小地のパーティポート（離着陸場）で安全な離着陸が可能となり、大きな離着陸場を作りにくい都市部でも多くのポートを使用して Door to Door に近い移動を実現します。

また、駐車場のような身近な場所で離着陸を実施できたことは、都市部の屋上ポートはもちろん、大型ショッピングモールの駐車場、駅前の広場等に SKYDRIVE のポートが配置でき、近い将来、日常的な移動に空という選択肢が増える事を感じさせるものとなりました。

- 映像 URL : <https://youtu.be/Pc2qB6Zv8RI>
- 撮影日時 : 2026 年 2 月 24 日 (火) 午前 9:30 頃
- 飛行実績 : 時間 約 3 分 30 秒、距離 150m、高度 13m、パイロットは搭乗せず自動制御とリモート操縦での運航。



東京湾上空を飛行する SKYDRIVE (SD-05 型)

■ マルチローター型「SKYDRIVE (SD-05 型)」の特徴

マルチローター型の機体「SKYDRIVE (SD-05 型)」は、高度な制御による優れた「小回り性能」に加え、固定翼のある空飛ぶクルマと比較して機体サイズがコンパクトである点も大きな特徴です。これにより、離着陸に必要なポートの面積を小さくできるという利点があります。

東京都内には、ビル屋上に約 70 カ所の緊急時にヘリコプターが離着陸できる場所が存在しますが、その内多くは 15~20m 四方のスペースになります。

「SKYDRIVE (SD-05 型)」はコンパクトで精密な飛行制御が可能であるため、既存の屋上ヘリポートの大部分での運用が可能となり得て、東京都をはじめとする都心部における空飛ぶクルマの社会実装に適した機体であると考えています。



東京デモフライトで離着陸したポートサイズ：20m×20m

SkyDrive は、空飛ぶクルマの中でも、固定翼を持つ機体に対して機体サイズがコンパクトなため、必要なポートのサイズも小さくなります。※青線が必要となるポートの幅の例。

SkyDriveの機体



Winged eVTOL（固定翼のある機体）



■ デモフライトの背景と目的

東京都は、交通渋滞の回避や迅速な物資輸送など、人やモノの移動革命をもたらす人々のQOL（Quality of Life）を高めるだけでなく、都市の魅力やプレゼンスの向上につなげるために、空飛ぶクルマ社会実装のロードマップを策定し、取組を推進しています。（※3）

東京都と三菱地所、兼松は、2022年より都内における空飛ぶクルマの早期事業化を目的として、ビジネスモデルの検証、新丸ビル屋上と臨海部を繋ぐ航路におけるヘリコプターを活用した移動体験検証をおこないました。その結果、移動自体の時間は3分の1未満に短縮される一方、搭乗プロセスやポートへのアクセス等の移動前後のオペレーションの時間

短縮が重要であること、景色への評価や遊覧のニーズが高いこと、離着陸場は「駅周辺」や「オフィス街」等のアクセスが良い場所にニーズがあることが判明しました。(※4)

こうしたこれまでの検証成果を踏まえ、プロジェクトの4年目となる2025年より、新たにSkyDriveが、プロジェクトに参画しました。(※5) 今回のデモフライトでは、実際の機体とポートを使用して搭乗の一連の流れを検証します。さらに、英Skyports社の協力を得て、顔認証技術等を活用したチェックインや保安検査など、旅客動線をモニターが体験することで、実用化に向けた運用面の課題抽出をさらに深化させることを目的としています。

■ コメント

株式会社SkyDrive 代表取締役CEO 福澤 知浩

大阪・関西万博と大阪港バーティポートでの成果を経て、ついに日本の首都・東京でフライトを実現できたことを大変嬉しく思います。マルチローター型の高い機動力は、まさに東京のような大都市圏での運用に最適です。東京都やパートナー各社様のご支援に感謝するとともに、本格的な事業化に向け、都民の皆様がこの新しい移動手段「空飛ぶクルマ」を身近に感じていただけるよう、安全な実証を積み重ねてまいります。政府の地方創生に関する総合戦略においても『生活インフラ』として位置付けられた今、日本発の機体メーカーとして、日本から世界へ、空の移動革命を推し進めてまいります。

■ デモフライト 実施概要

- 実施期間：2026年2月24日（火）～2月28日（土）の5日間
- 場所：東京ビッグサイト 東棟屋外臨時駐車場
- 実施時間：各日 9:30 / 12:05（1日2回実施）※開始15分前までにお越しください
- 見学について：予約不要。どなたでも無料でご自由にご見学いただけます。
- 天候による実施判断：天候等の影響による実施可否については、X(旧Twitter) SkyDrive 公式アカウント (https://x.com/Skydrive_jp) にて随時ご案内いたします。
- その他：最終日の28日（土）2回目飛行後には、機体に近づいて見学・撮影いただける時間を設ける予定です。



※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility (AAM) や Urban Air Mobility (UAM) と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和6年4月付） <https://www.mlit.go.jp/koku/content/001739488.pdf>

※2 当社関連プレスリリース：

<https://skydrive2020.com/archives/64782> / <https://skydrive2020.com/archives/66607>

※3 東京都「空飛ぶクルマの取組」

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/cross-efforts/sorajissou>

※4 東京都「都内での空飛ぶクルマの社会実装を目指すプロジェクト」事業概要紹介

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/seisakukikaku/shiryoku4-4>

東京都公式 note 「空飛ぶクルマの社会実装を目指してヘリコプターでの運航実証を行いました！」

<https://www.my.metro.tokyo.lg.jp/w/000-20240813-50214810>

※5 東京都「都内における空飛ぶクルマを活用したサービスのビジネスモデル構築に関するプロジェクト」

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/05/2025053014>

《株式会社SkyDrive 概要》

| | |
|-------|---|
| 設 立 | 2018年7月 |
| 代 表 者 | 代表取締役CEO 福澤知浩 |
| U R L | https://skydrive.co.jp/ |

| | |
|------|---|
| 所在地 | <p>豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1</p> <p>豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2</p> <p>豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区</p> <p>名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F</p> <p>東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F</p> <p>大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F</p> <p>山口テストフィールド：山口県山口市阿知須</p> |
| 子会社 | <p>株式会社Sky Works：静岡県磐田市</p> <p>SkyDrive America, Inc.：Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.</p> <p>株式会社AlterSky：愛知県豊田市</p> |
| 事業内容 | <p>「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立、愛知県豊田市を主拠点に「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループの工場にて製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与、2020年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功、2025年には大阪・関西万博にてデモフライトを実施しました。2028年のサービス開始を目指し、引き続き機体開発に努めてまいります。</p> |

本件に関するお問い合わせ

«株式会社SkyDrive»

広報 石井

携帯：090-6389-3584

Email: info@skydrive.co.jp

<https://skydrive.co.jp/contact>